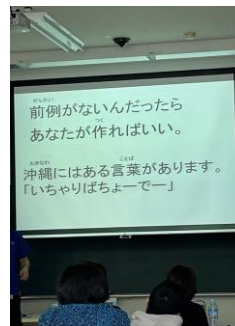


活動内容報告書

団体名		沖縄県聴覚障害児を持つ親の会	
直 近 3 か 月 の 活 動 報 告	2024年	3月	3日
	講演会「様々な聞こえとその活用」 講師：武蔵野大学		

活動風景の写真を添付してください

講演会



コメント

令和5年度3月に親の会講演会を開催しました。講師には自らを自由人と称し、書籍の執筆や各マスメディアへの出演など、ろう者としてマルチに活躍されている「春日晴樹」氏を北海道から迎え、「私の歩んだ道」をテーマに講演をしていただきました。

今回は、聴覚障害児のローモデルとなる春日氏の話、子供たちも一緒に聞いてもらいました。

講演会は春日氏が以前在職していたJAXAでの体験を踏まえて、宇宙の話から始まり、これまで歩んできた人生について語ってもらいました。

今まで、やりたいことがあっても聴覚障害といだけで門前払いになることも多々あり、苦悩する日々もあったそうです。

その時に「誰ができないって決めたの？」と思ったそうです。

私はこの言葉を聞いて、目頭が熱くなりました。もしかしたら、私達親や世間が聴覚障害という事で子供たちを型にはめていないだろうか？親が心配のあまり子供たちの出来ることを阻害していなかっただろうか？そう思うと、できないを決めたのは私達なのかもしれないと感じました。

社会の理解の無さに対しては、持ち前の行動力で、乗り越えてきたかという話がありました。

資格取得のために、専門学校に入学を希望したが、いくつもの学校に「障害者を受け入れた前例が無い」ということで、断り続けられたそうですが、唯一沖縄の学校だけが入学を認めてくれたそうです。その学校の先生からは「前例がなければ、あなたが作ればいい」と言われたそうです。春日氏の生き方は、子供たちの通る道なのかもしれません。その生き方を垣間見ることで、親は子どもとどのように向き合うのかを学んだように思います。

子供たちは、自分のことを認知し、どのような心を持って人生を歩んで行くのかを学んでくれたと思います。

最後に、中3の子が感想を話してくれました。「来年から高校生になります。不安もありますが、春日さんの話を聞いて私も進んでいく気持ちになりました」と話をしてくれました。この言葉からも今回の講演会は大成功だったと思っております。